



オーセンティック教材視聴に おける字幕の聴解力・語彙学習 への効果

2012026 田崎翔世

1. 背景・目的

背景

外国語教室で字幕付きビデオの使用が高まっている (Ebrahimi, Y., & Bazaee, P. 2016) おり、どのように字幕を使用するかが重要であるため、その使い方を明らかにする必要。これは教室のみならず、自律学習でも有効。

目的

動画視聴において母国語 (L1) 字幕と英語 (L2) 字幕のどちらがより聴解力と語彙学習に良い影響を与えるのかを解明する。また、個々の英語力に応じた字幕タイプは何かを明らかにする。

2. リサーチクエスチョン

- (1) 字幕付き動画視聴は聴解力を向上させるのか？（全体）
- (2) どちらの字幕タイプが日本人英語学習者の動画視聴中の理解に効果があり、より全体の聴解力を向上させるのか？
- (3) 字幕付き動画視聴は語彙学習に影響を与えるのか？（全体）
- (4) どちらの字幕タイプが日本人英語学習者の語彙学習に効果的なのか？
- (5) 学習者の各英語力に適した字幕タイプはどれか？

3. 研究方法

対象者 県立大英文の学生16名

材料 事前・事後アンケート、事前・事後聴解力テスト、事前・事後語彙テスト、CST（内容まとめテスト）、6つのビデオ（Ted, Ted-Ed）

手順

- ①事前アンケートに答える
- ②Teamsにて事前語彙テストを回答し、次に2分程度の動画を利用した事前聴解力テストを行う。

3. 研究方法

③参加者16人を英語字幕・日本語字幕グループに分けて、各字幕条件で、5分程度のビデオ×1日2回×6つのビデオを2週間で見てもらう。時間にすると2週で1時間程度。視聴と同時に内容まとめを行う。

④2週間後、事前と同じ聴解力、語彙テストを行ってもらう。加えて、事後アンケート

⑤回答やアンケートを採点し、分析にかける。

4. 結果 (RQ1,RQ3)

Table 1: The mean and S.D. of pre- and post-listening comprehension test

	Pre	Post
N	15	15
Mean	6	9.73
S.D.	2.58	2.89

平均：6点→9.73点に向上
t-test (統計分析) でも、前後
の有意差がある＝字幕の種類
にかかわらず字幕は聴解力向
上に効果的

Table 4: Mean and S.D. of the scores in pre- and post-vocabulary test

	Pre	Post
N	16	16
Mean	26.25	36.13
S.D.	9.18	9.65

Table 5: Mean and S.D. of the numbers of correct answers in pre- and post-vocabulary tests

	Pre	Post
N	16	16
Mean	9.19	12.31
S.D.	5.73	6.22

スコアと正答数で計測
スコア：26.25→36.13に向上
正答数：9.19→12.31に向上
字幕の種類にかかわらず語彙学習にも効果がある

4. 結果 (RQ2)

内容まとめテスト：6回のテストのスコア幅

英語字幕グループ→15.4~23.9

日本語字幕グループ→20.3~31.1 平均から、日本語字幕が、より、動画視聴中の内容理解には有利か？

Table 2: Mean and S.D. on each group pre- and post-listening comprehension

	ESG (Score)		JSG (Score)	
	Pre	Post	Pre	Post
N	7	7	8	8
Mean	5.57	10.29	6.38	9.25
S.D.	2.5555	2.5475	2.5464	3.0721

英語字幕グループがスコア上の伸びは大きい→しかし、統計分析上では2つのグループ間の有意な差はなし

4. 結果 (RQ4)

Table 6: The Mean and S.D. of scores of pre- and post-vocabulary test

	ESG (Score)		JSG (Score)	
	Pre	Post	Pre	Post
N	8	8	8	8
Mean	28.63	39.63	23.88	32.63
S.D.	10.9879	10.1481	6.0299	7.6638

Table 7: The Mean and S.D. of correct answers on pre- and post-vocabulary test

	ESG (Correct answers)		JSG (Correct answers)	
	Pre	Post	Pre	Post
N	8	8	8	8
Mean	10.88	14	7.50	10.63
S.D.	6.3332	6.0000	4.4441	5.9778

スコア：伸びは英語字幕グループ
がやや上回る
正答数：どちらのグループも同じ
くらいの伸び

しかし、統計分析では明確な有意
差はなし

スコアのみで見ると、やや英語字
幕のほうが有効か

4. 結果 (RQ5)

初級者：各グループに一人ずつ

CST→JSG>ESG 語彙伸び→ESG>JSG 聴解→測れず

中上級者：各グループに一人ずつ

CST→JSG>ESG 聴解→どちらも同じくらい伸び 語彙→ESG>JSG

中級者：各グループに6人ずつ

CST→JSG>ESG 聴解伸び→ESG>JSG 語彙→JSG>ESG

しかし、統計的な有意差は確認できず

5. 考察

RQ1：英語字幕では音声に関する視覚のサポート、日本語字幕では、音声の意味が視覚で入ってくるため、視聴中の理解が高まるのではないか

RQ2：CSTではJSG>ESGだったが、参加者によると、単に字幕だけを見ていたという主張があったため、聴解力が単純に大きかったとは言えない？

前後聴解テストの伸びでは英語字幕グループがやや大きい→スペルや文法などの視覚的情報＋発音などの音声を同時に処理されることで認知的に聴解に有利だったのではないか

5. 考察

RQ3 : RQ 1 と同様の考察に加えて、日本語字幕においては、音声に対応する意味が直接的に出ているため、語彙の習得ができるのでは？

RQ4 : Baranowska (2020) に基づき、英語のみが字幕や音声に使われていると、意味を推測しようと心がけるため、集中がいきやすくなり、ESGのスコアがやや伸び？

RQ5 : 特にCSTにおいて、グループ間の平均のギャップが小さかったため、中級者においては、普段の字幕の使い方や好みに影響されるのでは？

6. まとめ

- どちらの字幕がそれぞれの能力により有効かについては、統計的には有意差が出なかったが、スコアの伸びなどはそれぞれで見られた。また、字幕そのものの聴解、語彙習得への有効性は確認できた。
- 展望として、今回は特に期間や参加者に限りがあった。期間に関しては、動画の視聴回数を増やす、期間自体を伸ばすなどをすれば、より明確なグループ間の違いが見えるのでは？また、人数も各グループで初級者や中級者の数が1人ずつと少なかったため、比較が難しかった。増やす必要。
- ほかに、テストの構造やレベルの分け方を改善する必要性。

7. 参考文献（スライド上のもの）

Baranowska, K. (2020). Learning most with least effort: subtitles and cognitive load. *ELT Journal*, 74(2), 105-115. <https://doi.org/10.1093/elt/ccz060>

Ebrahimi, Y., & Bazae, P. (2016). The effect of watching English movies with standard subtitles on EFL learners' content and vocabulary comprehension. *Journal of Applied Linguistics and Language Research*, 3(5), 284-295.